

つなぐ

2011.3
第4号

ひとつなぎの宝物を、
－ワンピース－

1月8日、上長飯町の竹町地区で地域おこしにつなげようと60年ぶりに「おねっこ」が復活しました。厄年の大人や子どもたちが竹で組んだやぐらに火を放ち盆地の夜空を焦がしました。地域の子どもから高齢者まで約100人が集まり、勢いよく燃え上がる炎を見守りながら今年一年の無病息災を祈願しました。

※「おねっこ」旧薩摩藩圏域に伝わる行事で、竹で組んだやぐらに火をつけて災厄を振り払う行事。



✿ 特集

未来ある子どもたちの

輝く笑顔のために…

都城市PTA連絡協議会 会長 高木 かおる

子どもたちの様子が変わってきている。良い方向に、と言いたところですが、どうも逆の方向への変化のように感じます。不登校、ひきこもり、いじめ問題など、深刻化の一途です。

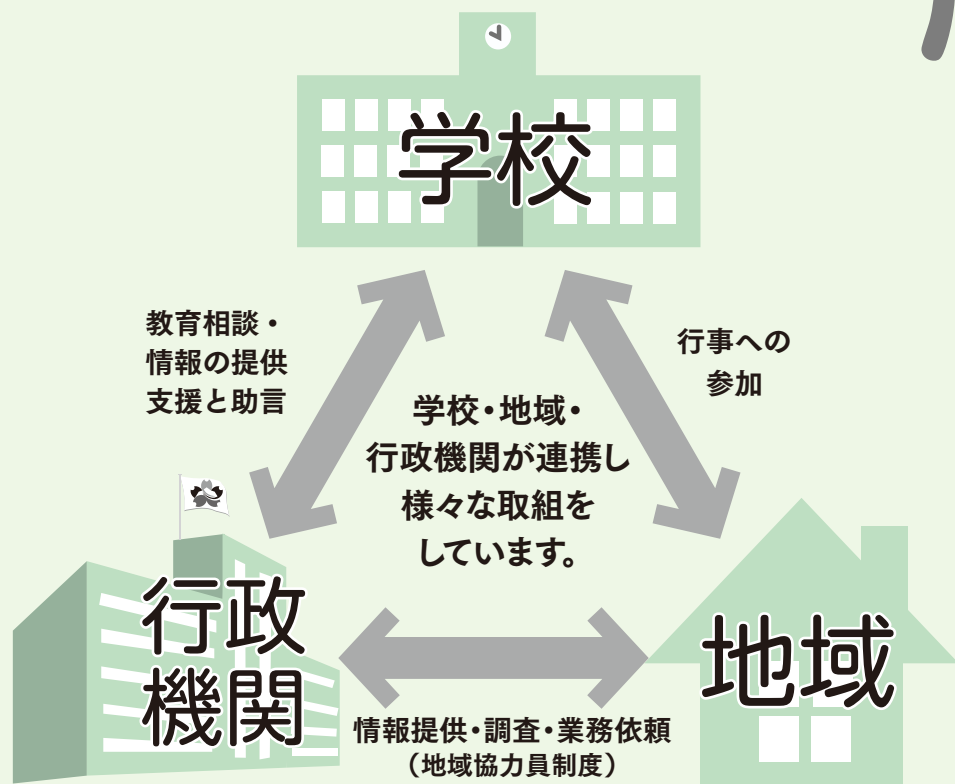
では、この変化は、子どもたち自身の問題として片づけられるものなのでしょうか。そうではない。間違いないおとなの問題です。自分探しの歩みの中で、闇に行く先を阻まれて、もがき苦しんでいる子どもたち…。そんな彼らを、前から後ろから励ましていくのが、おとなの役割のはずです。しかし、今、そのおとなが役割を果たせないから、子どもたちは自分たちの道標を見失ってしまっているの

はないでしょうか。

その子の人生は、その子のもので。どんな困難さも、最後は自分の力で切り拓いていかなければなりません。生きる力とは、生きる強さではなく、自分の弱さ、つたなさを受けとめていくことです。

だから、弱音を吐ける場所が必要なのです。安心して心からたを預けられる「居場所」が…。

子どもたちが安心してできる「居場所」のある社会は、おとなにとっても安心して生きていけるものです。今回は、そんな「居場所」探しをしてみました。「居場所」を知っておくことで、子どもたちの声なき声に傾聴できると信じています。



ご存知ですか？

✿特集

学校には…

スクール アシスタント

教職経験者や青少年団体指導者など地域の人材の中から、青少年のさまざまな悩みを解決するため、主に5学級以上の中学校に配置されています。

- 児童生徒の悩み相談・話し相手
- 保護者・教師の相談
- いじめ・不登校対応の支援
- 生徒指導に関する総合的な支援
- 地域の情報収集
- 学校教育の啓発
- 年間90回（1回4時間程度）
- 本年度は中学校8校に配置

スクール カウンセラー

心理学をもとに専門的な立場からカウンセリングを行なっています。

- 保護者へのカウンセリング
- 教職員への助言や援助
- 専門機関との調整や連携
- 市内の中学校11校に6名を配置
- 月2回指定された学校で活動

「うれしい便り…」

「先生、合格したよ!」「就職きまったよ!」

この時期、いろいろなメールが届きます。

不安な心で過ごした中学校生活。

少しでも笑顔で心強く前に進めるように…

そんな思いで子どもたち一人ひとりと接してきました。

卒業してからも職場での悩みや恋の悩みなど…

関わった子どもたちから今でも届く連絡は、

どんな内容であれ、元気にがんばって

いることが実感できるととても嬉しい

ものです。

特別支援 教育支援員

都城市内の小・中学校に在学する障がいのある児童・生徒が、支障なく学校生活及び学習活動ができるよう支援しています。

- 活動内容 生活介助・学習支援
- 資格要件はないが、子どもが好きで、体力と精神力がある人
- 本年度は小学校20校・中学校2校に配置 支援員数は31名

スクールカウンセラー・スクールアシスタント・特別支援教育支援員の方々が配属され、子どもたちが楽しく学校生活を送れるよう心身の成長のための様々な支援活動をしています。



行政機関には...

子どもに関する相談窓口として、「学校教育課」「ウェルネスハートセンター」「南部福祉子どもセンター」「こども課」「都城市子育て支援センター」などがあります。不登校の児童生徒の学校復帰の支援や、子どもの養育上の様々な問題の相談窓口として日々活動をしています。

ひとりで
悩まないで!

教育相談室

いじめ・不登校・非行・進路など
児童生徒の悩みの相談をうける

場 所

都城市役所南別館3F
都城市教育委員会学校教育課

T E L

23-2420 (内線 3332)

対 象

都城市内の小・中学校の
児童生徒と保護者



- 匿名でかまいません。まず電話を。
- プライバシーと個人情報を守ります。
- 親だけで悩まないで気軽に相談してください。
- 相談員と一緒に考えましょう。

スプリング教室 (適応指導教室)

不登校の状態にある児童生徒の学校復帰に向けて通所による指導・助言を行う

場 所

都城市コミュニティセンター

連 絡 先

教育相談室へ

対 象

都城市内の小・中学校の児童生徒

活動内容

- ・個別的に相談を実施
- ・学習指導や生活指導・体験活動を通して自主性や社会性を養う。



教育委員会

●山 之 口

T E L 0986-57-3111 (代表)

●高 城

T E L 0986-58-2311 (代表)

●山 田

T E L 0986-64-1111 (代表)

●高 崎

T E L 0986-62-1111 (代表)

勇気をもって
まず電話を!

宮崎県ウェルネス ハートセンター

T E L 0986-25-8349

相談時間 9:00~16:00 (月曜日~金曜日)

対 象 乳幼児から18歳までの子どもと保護者

相談内容 全般

方 法 電話相談・来所相談可

場 所 都城市総合社会福祉センター内

南部福祉子どもセンター

従来の「北・西諸県福祉事務所」「都城児童相談所」「知的障害者更正相談所都城支部」の機能を統合した、福祉に関する総合的な相談・支援機関です。

T E L 総務課:0986-23-4520

こども福祉課:0986-22-4294

相談時間 8:30~17:15 (月曜日~金曜日)

※子どもの虐待など緊急の場合はいつでも可

相談内容 子どもの養育に関すること、
生活福祉に関することなど

場 所 都城市年見町14-1-1

地域には……

各地域には、地区ごとに、福祉や子育ての悩みなどの相談に応じてくださる民生委員・児童委員、主任児童委員の方々がいらっしやいます。この委員の方々は、厚生労働大臣から委嘱され特別職の地方公務員として任期の3年間、各地域で活動をしています。

民生委員・児童委員

仕事の内容

- 社会福祉の精神で常に住民の立場にたって相談に応じ、必要な援助を行う。
- 民生委員は児童委員を兼ねることとなっているため「民生委員・児童委員」として両方の役割を担っている。

活動内容

- 住民および児童の生活状態について、必要に応じ取り巻く環境の状況を適切に把握する。
- 援助を必要とする人の相談に応じ、助言及び援助を行う。
- 社会福祉に関する活動を行う団体と連携し、事業または活動を支援する。
- 社会福祉事務所や関係機関に協力する。
- 住民及び児童の福祉の増進を図るための活動を行なう。

選出

- 自治公民館が候補者を推薦し、市が選考する。
厚生労働大臣から委嘱される。(15地区303人)

民生委員・児童委員をして地域のことをいろいろ知ることができたことは大収穫でした。自分のことを覚えていただいたり、「あなたがいってくれて良かった」と、嬉しい言葉や声をかけてもらった時、民生委員・児童委員をして良かったなあと感じています。

主任児童委員

仕事の内容

- 児童の福祉に関する機関と児童委員との連絡調整をする。
- 児童委員の活動への援助や協力をする。

役割

- 児童福祉関係機関・施設等との連携
- 地区担当児童委員への援助活動
- 個別援助活動が必要な家庭への援助
- 地区民児協事業の企画・運営への支援

選出

- 児童委員の中から配置される。
(15地区30人)

民生委員・児童委員、主任児童委員は、地域住民との連絡調整の役割も兼ねています。
いかに地域に溶け込んで地域の実情を把握するかが重要だといえるでしょう。そのためには、私たち個々の活動が必要となります。同時に地域の皆さんや保護者の方々にも私たちの存在を知っていただいて、さらに情報提供や地域活動など、私たちをもっと活用していただきたいと思います。

お近くの民生委員・主任児童委員または、公民館長でも結構です。
私たちは、守秘義務のもと絶対に通報者に迷惑をおかけすることなく、関係行政とともに行動します。地域の皆様、保護者の皆様の協力なしでは子どもを救えません。
そして皆様が「子どもたちは宝物なんだ」という意識を持ちながら日々の生活を送ってくださることを切に願います。

子どもが元気な地域は大人も元気!!
共に育ちあう子育て環境日本一“都城”をめざして!!

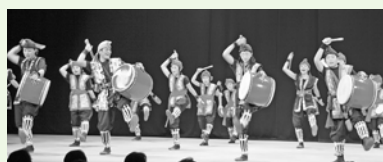
第51回都城市PTA研究大会

研究
主題

今を生きる子どもたちの声に耳を澄ませ、
子どもをまんやかに、ともに育ちあう
PTA活動を推進しよう



平成23年2月6日(日)に、都城市総合文化ホールにおいて第51回都城市PTA研究大会が開催されました。新燃岳の火山灰が舞う中の開催でしたが、PTA会員約500名が参加して、大盛会でした。



開会に先立ち、都城市立高崎麓小学校「高崎麓エイサー隊かじまや」(児童17名、保護者4名)が壮大でダイナミックな演舞を披露してくれました。



表彰式では、PTA活動に尽力された24人が表彰され、感謝状が贈呈されました。
研修では、西小学校PTAと小松原中学校PTAの研究発表が行われました。

主催者を代表し、都城市PTA連絡協議会高木かおる会長が、「新燃岳の火山灰で、皆さんとてもご苦労されています。この大変な時こそ、国や市まかせではないPTAの力を發揮しましょう。子どもたちには、自分の喜びだけで満足することなく、他人の喜びを自分の喜びと考えるように成長していくて欲しい。そして親である私たちも自分の子どもさえよければいいという考えではなく、どの子の幸せをも願い、よその子も幸せになつてこそわが子も幸せになれるという気持ちでいて欲しい。子どもは社会の宝です。子どもたちのために大人が前を向いてがんばつていきましよう」とあいさつされました。

講演

子育てに生かす脳科学からの情報1&2 ～生活力・学習力・人間力を高めるために～

県立みやざき中央支援学校指導教諭 足立明彦先生



自分が右利きか左利きかはすぐわかりますね。では、利き耳はどちらでしょう？ 皆さんは電話を右耳と左耳のどちらで聞きますか？ 脳は交叉神経なので、右耳で聞く人は左脳で考える人(理論的、分析的)で、左耳で聞く人は右脳で考える人(絵画的、直感的)です。また、右脳と左脳を同時に使うことのできる女子脳度(共感志向的)と、右脳と左脳を別々に使う男子脳度(システム志向的)というのがあります。これはその人の脳の個性です。それぞれに興味の示し方も違います。それぞれの違いがありま

す。ですから、それぞれへのふさわしい教え方や伝え方があり、相手に合わせてあげないとわかりにくいということが言えます。
人が社会に出て必要なことは、同志の距離感がわかる「コミュニケーション力・社会性・人の気持ちや先を読む力」という意味での想像力の3つです。そのために脳の「前頭連合野」という部分を鍛えましよう。

ゲームをやっ

ぜん頭連合野を鍛えよう!

「真ん中取り」

三文字の真ん中だけを決めて、言葉を探すゲームです

例：○ら○

→からす・あらし・たらこ・ガラスなど

ますが、この感情を抑えるブレーキを鍛えると「キレにくく」なります。脳を鍛えるということは、心を鍛えるということと同じです。脳力を伸ばすことが能力を伸ばすことにつながります。子どもと向き合うのではなく、子どもに寄り添って、肯定的に子どもをみることが大事です。

感情を十分高めておいて、そのあとおとなしく過ごさせる...たとえば、「30分間思い切りくすぐるなどじやれあつて興奮した後で、10分間黙って片づけをする」ということを毎日繰り返すと、感情を抑えるブレーキが鍛えられます。よく「キレる」と言われ

市PTAネットワークス

『変えよう・変わろう』 子どもの成長を願って』



西小学校PTA会長
竹下 純子

歴史と伝統のある西小学校PTA会長に就任し、一年が過ぎようとしています。

本年度の西小学校PTAは、『子どもを生き、子どもとともに成長するPTA活動の在り方』PTA活動の活性化に向けた変革（チェンジ）への挑戦』をテーマに掲げ、研究に取り組みました。

研究を進めるにあたっては、校長先生に助言をいただきながら、現状を変えていく様々な方策を検討しました。

中でも、PTA活動に対する意識改革と協力を求めて全家庭に向けてアピールを行ったり、プール監視の在り方を根本的に見直したり、これまでにない変革を目指した取組を実施できたことは、成果として挙げられます。

現状を変えるには大変な努力がいることがわかりました。しかし、PTA役員や先生方、PTA会員の理解と協力があれば、変革は可能だということを実感できた一年でもありました。

次年度も、子どもの成長を願い、有意義なPTA活動を推進し、子どもとともに成長する親であり、PTAでありたいと思います。

『環境づくり』



小松原中学校PTA会長
池崎 茂

小松原中は、大王小学校と隣接した「小一中」の学校です。校門を入ると「小松の森」と呼ぶ記念樹の森があり、落ち着いた雰囲気の世界です。PTA活動内容は、他校とほぼ同様ですが、本校PTAの課題の一つとして「生徒数の減少」により「組織改革」が必要であると考えています。

現在は、地区単位での活動を主としていますが、少子化に伴う地区の不均等が生じてくる場合、少人数PTAの地区統合が必要であると考えています。また学級単位で専門委員を組織する方法もあります。その中で、地区で取り組んでいる資源回収など学級単位ではすぐに体制が整わない現状もあり十分検討する必要があります。

ところで、小松原地区壮年連協のご好意で、今年も2回奉仕作業をして頂きましたが、やはり中学校PTAも奉仕作業を復活すべきではないでしょうか？そこで、手始めに学級単位での奉仕作業を実施する案と「小松原ふれあい広場」への生徒や親の参加する案の検討を考えています。

家庭、学校及び地域と連携しながら一体となる事が何よりも大切でいい環境づくりをしたいものです。

PTA行事が増えますが、あなたのできる範囲でのご協力で、共に汗を流し、親子の絆を深めるのは、今だから...

単Pゆみゆエッセイ

『ふれあい』を大切にして

夏尾中学校PTA会長 瀬野 博文

本校は、現在全校生徒10名の学校です。

P戸数が8戸、教職員数が8名と少ないのですが、どのPTA活動にもほとんどの保護者、先生方に参加していただいています。会員数が少ないため、夏尾小・中合同で活動する行事がたくさんあります。特に、4月に行う合同歓迎会、12月の合同忘年会、3月に行う合同送別会は、全会員が参加して大変盛り上がり、保護者と先生方との親睦を深める大切な場となっています。また、学校行事への協力として、小中合同運動会では、当日の朝の準備や後かたづけの協力をしたり、運動会当日に子どもたちと保護者がいっしょに踊るダンスの練習を夜に行ったりしています。校内文化祭に向けては、合唱の練習を先生方と保護者で行っています。

す。また12月には、正月を迎える準備として、保護者と子どもと先生方が協力して学校の校門に門松を作ります。

これからも、親と子、そして先生方も含めた『ふれあい』を大切にして、子どもたちの成長を願いながら、夏尾中を盛り上げていきたいと思っています。



【12月の小中合同門松作りのあとで】

vol. 4

第30回宮崎県

小・中学校PTA

新聞コンクール

入賞校

優秀賞

高城小学校
「ゆずりは」



努力賞

姫城中学校
「ひめぎ」



「笛水小中学校で学んでみませんか」

小規模特認校・小中一貫校

都城市立笛水小中学校PTA

笛水小中学校のある高崎町笛水地区は、市の北辺に位置し、すばらしい自然に囲まれた美しい所です。初夏の豊富な降水量と大淀川と岩瀬川の澄んだ水が豊かな森と農作物を育み、古くから農林畜産の地区としての歴史を刻んできました。近年は地区活性化委員会を中心に、この豊かな自然を生かした様々な事業に取り組み、昨年度は、「村づくりコンクール」において県1位となりました。

笛水小中学校は、本年度4月、地域の願いでもあった小中一貫校として新たなスタートをきりました。現在、小学部20名、中学部12名の児童生徒が同じ校舎で学んでいます。職員室も一つとなり、16名の先生方が連携しながら、本校の良さを生かした本校ならではの小中一貫教育の推進のために試行錯誤の日々を送っています。

本校は、少人数の小中一貫校の良さを生かし、学校生活の中で次のような取組を行っています。

●小学部・中学部という従来の括りの他、4・2・3（前期・中期・後期）という学年の位置づけを行っています。これは、少人数のハンディーを克服し、児童・生徒の成長段階に合わせてきめ細かな指導を実現するためのものです。

●児童生徒会是一个の組織として活動しています。児童生徒みんなで遊ぶ日を設けたり入学式・卒業式・運動会・文化祭などの

学校行事は、1年生から9年生まで共に取り組み、充実した活動となっています。

●給食は、ランチルームで全校児童生徒・先生方といっしょに食べています。

●小学部の先生が中学部の授業（技術・保健体育）を、中学部の先生が小学部の授業（算数・理科・音楽・英語活動）を担当しています。

●中学部の生徒の躰（からだ）を小学部の先生が指導したり、6年生が卒業後、中学部に入学するまでの期間に、特別授業も実施します。

本校は、平成19年度より市の「小規模特認校」の認定も受けています。これは、都城市管内の小中学生であれば、一定の要件を満たせば誰でも学校区を越えて本校で学ぶことができる制度です。この制度を多くの方に知っていただき、活用していただきたいと思っています。笛水小中学校はもちろん、地域としても全面的にバックアップいたします。



素晴らしい自然環境と豊かな伝統、そして何より温かな人柄の笛水で、有意義な小中学校生活を送ってみませんか。

編集後記

上の子が、もう高校受験という年になりました。ヨチヨチと歩いていた、オムツ姿の頃が遠い日の事のように、今では上から見下ろされる毎日です。小さい頃、歩くときには手をつなぎ、まわりついていつも側に居たのに今は名前を呼んでも素っ気無い。いずれば親元を離れ、巣立つていく子どもたち。『親と子が居れる時間は少ない、子どもと一緒に居れる時間をもっと大事に』と、某校長先生が話されていた事を、ふと思い出しました。今さら、手をつないで歩いたり出来なけれど、間接的にでも子どもと触れ合い、関わることでこれからも子どもと心をつないで歩いていこうと思います。

編集委員長 竹田 佐代

外部編集委員

前田 美保 鶴田 智子
土屋 裕子 山田 文子
吉永 文子

編集委員

下西 智弘 安田 弘文
中山めぐみ 戸高 正典
大村 美香 戸高 望
藤田 学 久保 浩之
森 真理子 堀田真美子